

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	東京アニメーションカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 創都学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養課程	総合学科(3年制)	夜・通信	2560 時間 2496 時間	80×3＝ 240 時間	
	アニメーション学科(2年制)	夜・通信	1696 時間 1664 時間	80×2＝ 160 時間	
文化・教養課程	マンガ・イラスト学科(2年制)	夜・通信	1664 時間 1696 時間	80×2＝ 160 時間	
	声優学科(2年制)	夜・通信	1664 時間	80×2＝ 160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

HPにて授業科目一覧を公開。授業科目一覧の中で、教員の実務経験に関するチェック欄あり。
(掲載: <https://www.tokyo-anime.jp/data>)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	東京アニメーションカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 創都学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

HPにて理事名簿を公開している。 (掲載: https://www.tokyo-anime.jp/data)
--

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	税理士	2022. 5. 31～ 2026. 5. 30	健全な学校運営の 監督
非常勤	会社役員	2022. 5. 31～ 2026. 5. 30	健全な学校運営の 監督
非常勤	会社役員	2022. 5. 31～ 2026. 5. 30	健全な学校運営の 監督
非常勤	コンサルタント	2022. 5. 31～ 2026. 5. 30	健全な学校運営の 監督
(備考)			

様式第 2 号の 2－②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第 2 号の 2－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	東京アニメーションカレッジ専門学校 (総合学科(3年制)、アニメーション学科(2年制) マンガ・イラスト学科(2年制)、声優学科(2年制))
設置者名	学校法人 創都学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) (総合学科(3年制)、アニメーション学科(2年制)、マンガ・イラスト学科(2年制)、声優学科(2年制)) 【作成について】 前期末、後期末に実施する教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会により外部有識者・業界の実務に関する知見を有する役職者より現状のカリキュラムに対する意見を聴取し校長に答申し方針を決定していく。 前後期授業開始前に行う、全体講師会及び各学科分会において指導方針について説明。校長指示のもと、各学科長・担任が担当講師と授業内容・指導方法・目標設定・評価方法について詳細に打合せし、担当講師がシラバスを作成。 【時期について】 前期末9月、後期末3月の教育課程編成委員会・学校関係者評価委員会及び講師会・分会を経て決定。 前期・後期授業開始時に学生に公開。	
授業計画書の公表方法	掲載: https://www.tokyo-anime.jp/data
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 履修認定は、1科目の授業に対して講師(教科担当)が、学科長/学科担任と協議してその授業内容に即した評価の仕方を決定する。 授業内で随時行う課題に対する技術評価・レポート・プレゼンテーション等と、取り組み方に対する平常点、出席状況を加味して評価を決定していく。 成績評価は、各教科ごとに前期・後期の各々100点満点評価とし、59以下は不可となる。 各教科履修を認めるレベルは「可」以上となり、「不可」の場合は、科目履修単位を認めない。 また、出席が2/3以下の学生は成績評価の対象としない。	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。 (客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 個人の成績評価は、各教科ごとに前期・後期の各々100点満点評価としている。評価は、「優」100～90、「良」89～80、「可」79～60、「不可」59以下の4段階評価。各教科履修を認めるレベルは「可」以上となり、「不可」の場合は、科目履修単位を認めず、各学期々として補講や追試を行う。 また、学科ごとの履修状況を確認していくため、下記の指標を設定している。 「優」=3、「良」=2、「可」=1、に置き換え個人の平均数値を出し、それを1.0未満、1.0以上1.5未満、1.5以上2.0未満、2.0以上2.5未満、平均数値2.5以上の5段階に分けて表とグラフにして分析。 成績の分布状況を理解して全体的な学生指導に役立て、今後のカリキュラムの内容に関する検証や改善に努めている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	掲載: https://www.tokyo-anime.jp/data
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。 (卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 本校は、仕事として、アニメーション・マンガ・声優などのエンタテインメントに関わる上で大切な要素を持った人材を育成・輩出し、エンタテインメント業界の発展に寄与することを目的としている。 卒業要件については、各学科が定める所定の全授業科目を所定の年次にすべて合格することを定めている。 詳細についてはディプロマポリシーをはじめ、学則、学生生活のてびき等に記載している。 当校ではディプロマポリシーを策定し、HPに公表している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	掲載: https://www.tokyo-anime.jp/data

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	東京アニメーションカレッジ専門学校
設置者名	学校法人 創都学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	インターネット https://www.tokyo-anime.jp/data
収支計算書又は損益計算書	同上
財産目録	同上
事業報告書	同上
監事による監査報告（書）	同上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名		学科名		専門士		高度専門士	
文化・教養		専門		総合		○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数		開設している授業の種類					
	講義			演習	実習	実験	実技		
3 年	昼	2688 単位時間 ／単位		352 単位時間 ／単位	384 単位時間 ／単位	1952 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	
				単位時間／単位					
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数		兼任教員数		総教員数	
90 人		136 人	19 人	7 人		9 人		16 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1. を参照
成績評価の基準・方法
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3. を参照
卒業・進級の認定基準
（概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4. を参照
学修支援等
（概要） 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、著名な業界関係者による特別授業の実施など、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 前期・後期末には単位未修得者・出席不良者に向け補講を行いフォローしている。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
24 人 (100%)	0 人 (0%)	9 人 (37.5%)	15 人 (62.5%)
（主な就職、業界等） アニメーション制作会社、声優プロダクション			
（就職指導内容） 業界の理解を深める業界セミナーの実施。業界関係者による特別授業、模擬面接の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） アニメ・マンガ・イラスト・声優各業界で就業可能な技術を修得／日本語検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
104 人	6 人	5.8%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、体調不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による細かな個人面談及び校長面談の実施。 経済的理由の場合には経理担当者が支払い計画と一緒に相談しながら立て、 進路変更希望者には、本人の希望・適性について聞き取りと面談を行い、他コースへ の変更など含め相談を実施している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門	アニメーション	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数 1792 単位時間／単位	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼		64 単位時間 ／単位	160 単位時間 ／単位	1568 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120 人		133 人	54 人	11 人	10 人	21 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、著名な業界関係者による特別授業の実施など、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 前期・後期末には単位未修得者・出席不良者に向け補講を行いフォローしている。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
57 人 (100%)	0 人 (0%)	38 人 (66.7%)	19 人 (33.3%)
（主な就職、業界等） アニメーション制作会社			
（就職指導内容） 業界の理解を深める業界セミナーの実施。業界関係者による特別授業、模擬面接の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） アニメーション業界で就業可能な技術を修得			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
133 人	7 人	5.3%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、体調不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による細かな個人面談及び校長面談の実施。 経済的理由の場合には経理担当者が支払い計画と一緒に相談しながら立て、 進路変更希望者には、本人の希望・適性について聞き取りと面談を行い、他コースへ の変更など含め相談を実施している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門	マンガ・イラスト	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼	1792 単位時間／単位	32 単位時間 ／単位	480 単位時間 ／単位	1280 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
2 年			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
140 人		110 人	27 人	12 人	7 人	19 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、著名な業界関係者による特別授業の実施など、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 前期・後期末には単位未修得者・出席不良者に向け補講を行いフォローしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
55 人 (100%)	1 人 (1.8%)	16 人 (29.1%)	38 人 (69.1%)
（主な就職、業界等） 出版、放送関連企業			
（就職指導内容） 業界の理解を深める業界セミナーの実施。業界関係者による特別授業、模擬面接の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） マンガ・イラスト業界で就業可能な技術を修得			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
107 人	5 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、体調不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による細かな個人面談及び校長面談の実施。 経済的理由の場合には経理担当者が支払い計画と一緒に相談しながら立て、 進路変更希望者には、本人の希望・適性について聞き取りと面談を行い、他コースへ の変更など含め相談を実施している。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		専門	声優	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
	昼	1792 単位時間／単位	64 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	1600 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	128 単位時間 ／単位
2 年			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100 人		83 人	7 人	10 人	24 人	34 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 1. を参照	
成績評価の基準・方法	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 3. を参照	
卒業・進級の認定基準	
（概要） 様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の 4. を参照	
学修支援等	
（概要） 随時、担任教員による相談受付や面談、進路指導、著名な業界関係者による特別授業の実施など、意欲ある学生の積極的な学修を支援している。 前期・後期末には単位未修得者・出席不良者に向け補講を行いフォローしている。	

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
37 人 (100%)	1 人 (2.7%)	28 人 (75.7%)	8 人 (21.6%)
（主な就職、業界等） 声優プロダクション			
（就職指導内容） 業界の理解を深める業界セミナーの実施。業界関係者による特別授業、模擬面接の実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 声優業界で就業可能な技術を修得／日本語検定			

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89 人	11 人	12.4%
(中途退学の主な理由) 経済的理由による修学継続困難、体調不良、進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制による細かな個人面談及び校長面談の実施。 経済的理由の場合には経理担当者が支払い計画と一緒に相談しながら立て、 進路変更希望者には、本人の希望・適性について聞き取りと面談を行い、他コースへ の変更など含め相談を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
全学科	100,000 円	1,200,000 円	50,000 円	
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校 HP にて公開している。 https://www.tokyo-anime.jp/data		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者として、関係企業、卒業生などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かし、学校が提出した自己評価報告書、参照資料、訪問調査・意見交換の実施に基づき『文部科学省のガイドラインに』沿った評価を行っている。評価内容は教務会議などで報告され、次年度以降の改善に取り組んでいる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
新宿区民生委員・児童委員協議会	2024. 4. 1～2026. 3. 31	地域関係者
有限会社ナラト	2024. 4. 1～2026. 3. 31	企業等委員
フリー	2025. 4. 1～2027. 3. 31	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) インターネット https://www.tokyo-anime.jp/data		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) インターネット https://www.tokyo-anime.jp/data
--

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	H113310400435
学校名（〇〇大学 等）	東京アニメーションカレッジ専門学校
設置者名（学校法人〇〇学園 等）	学校法人創都学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		66 人（ 人）	68 人（ 人）	68 人（ 人）
内 訳	第Ⅰ区分	28 人	31 人	
	（うち多子世帯）	（ 人）	（ 人）	
	第Ⅱ区分	16 人	－ 人	
	（うち多子世帯）	（ 人）	（ 人）	
	第Ⅲ区分	11 人	13 人	
	（うち多子世帯）	（ 人）	（ 人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	－ 人	－ 人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	－ 人	－ 人	
	区分外（多子世帯）	－ 人	－ 人	
家計急変による 支援対象者（年間）				－ 人（ 人）
合計（年間）				68 人（ 人）
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当）	0人	0人	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	0人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	0人	0人	0人
計	0人	0人	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学(3月未満の期間のものに限る。)又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
GPA等が下位4分の1	0人	0人	0人

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学(修業年限が2年のもの)に限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。))及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。))	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位数が警告の基準に該当)	0人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	-人	0人	-人
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	-人	-人	-人
計	人	人	人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。